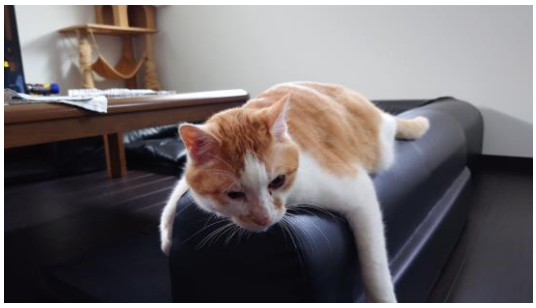
2023年8月1日発行　No.185

バックナンバー　院長日記

こおり治療院通信



我が家の愛猫ミユくん
暑くてぐったり(=^・^=)

皆さん、こんにちは。いよいよ夏本番！真夏の到来ですね。３０℃を超える日が当たり前になってきました。それに伴い、熱中症で搬送される事例も多くなってきたようです。こまめな水分補給、適度な運動と休養、規則正しい生活を心がけ、この夏を明るく楽しく健康に乗り切りましょう！！

さて、日本政府はマスクの着脱について３月13日から任意とする方針に切り替えました。元々任意であったものを改めて任意にしただけですが。あれから５ヶ月。真夏となった今、マスクの着用はどう変わってきているでしょうか？町を歩くと、以前よりもだいぶノーマスクの人が増えてきている感じはします。ですが、大多数は未だにマスク着用。屋内では更に着用率が上がります。店の従業員はほぼ100%マスク着用。当院は元々ノーマスク推奨なので殆どの方がマスクをせずに施術を受けていますが、やはり当院の外では着けざるを得ないと言う方が多いです。マスクに感染予防効果など無いことは重々承知しているが、忖度して着けなくてはならない場面があり辛いという話をよく聞きます。和を重んじる日本人とって「相手のため」という言葉は呪いに近い効果を発揮することが今回の件でよくわかりました。空気を読む。他人の目を気にする。周囲と同じ、はみ出さない。どんなに不合理で理不尽なことでも、周りがしていれば自分も無条件で右に倣う。同調圧力に屈する。何者にも左右されず生きるには、自分は誰でもない自分自身であるという確固たる自尊心を持たなければなりません。子供の頃から全員同じことをするよう教育される日本人は個性を嫌う傾向にあります。少しでも他の子と違えば知的障害、精神障害だと言われ集団から排除される。だから周りの顔色を伺って空気を読んで忖度し、無意味なマスクを着け続ける人になってしまう。無個性人間を育てる画一的な教育を変えなければなりません。たかがマスク、されどマスク。この暑い中マスクを着け続ける意味があるのか？今一度よくよく考えて、自分の意志で行動してほしいと思います。特に子を持つ親の責任は重大です。ぜひ自尊心が芽生える子育てをして頂きたいと切に願います。

着用モデル年齢：2歳
２歳児にまでマスクを着けさせ
今や動物にまでマスク　異常です。